平成23年度 当初予算案の概要

平成23年2月

福知山市

目 次

- 1 当初予算の規模
- 2 福知山の未来につなぐ

『創造戦略2011』推進予算

☆ 4大重点戦略

☆ 未来につなぐ「五つの創造プラン」

- 3 財政健全化の推進
- 4 一般会計予算のポイント

1 当初予算の規模

福知山の未来につなぐ 『創造戦略2011』推進予算を編成

一般会計総額 396億円 (△5億3,000万円 △1.3%)

予算総額 単位:百万円

	H23	H22	増減額	増減率
一般会計	39,600	40,130	△530	△1.3
特別会計	25,391	26,876	△ 1,485	△ 5.5
企業会計	13,483	12,211	1,272	10.4
合 計	78,474	79,217	△743	△0.9

福知山の未来につなぐ『創造戦略2011』 推進予算

☆4大重点戦略☆

1. 『NEXTふくちやま 次世代創造戦略』

ふくちやまの近未来を創造する子ども達と、未知なる可能性を秘めた若者が、健全に成長する基盤 づくりを進めます。

2. 『城下町福知山 魅力と活力創造戦略』 ~中心市街地活性化~

「福知山市中心市街地活性化基本計画」の国の認定を目指すとともに、福知山オンリーワンの まちなみと賑わいづくりを進めます。

3. 『人・自然共生ふくちやま 自立・元気創造戦略』~周辺部の活性化

地域の特性や個性を活かすとともに、農産物の鳥獣被害に歯止めをかけ、緑豊かな農山村地域を 元気にします。

4. 『便利・快適ふくちやま 公共交通創造戦略』

誰もが住みやすい、住んでみたいまちを目指して、公共交通の利便性を高めるため高校生の通学・ 高齢者の通院などを支援するとともに交通空白地の解消を図ります。

1. 『NEXTふくちやま 次世代創造戦略』

ふくちやまの近未来を創造する子ども達と、未知なる可能性を秘めた若者が、健全に成長する基盤 づくりを進めます。

◇戦略 1 乳幼児の健やかな成長を支援

※()内は別添「主要事項説明書」のページを記載しています。

①こんにちは赤ちゃん事業(生後4カ月までの乳児のいる家庭を訪問し、育児ストレス解消と子育て支援に関する情報提供と

(P.5)

ファミリーサポートセンター利用補助券を交付します)

100万円

②子どもに優しい芝生園庭整備モデル事業 (園児が安全安心に遊べる環境を調査するため、公立保育所の園庭を一部芝生化します)

(P.7)

14万円

③民間保育所運営事業 (P.8)

(民間保育所の延長保育を促進します)

2億4,208万円

④ふくふく医療費支給事業 (3歳から小学6年生までの通院医療費を助成します。各医療機関につき1日500円の自己負担で受診できます)

(P.10)

7,076万円

◇戦略2 児童生徒の学びとふれあいを支援

①「はやぶさ」帰還カプセル展示事業(「はやぶさ」帰還カプセルおよび関連物品を三段池公園総合体育館サブアリーナに展示します)

(P.57)

(5月7~10日) 300万円

②まなびのつながり強化推進事業(子どもたちの個性を伸ばすために、異校種間等の連携の強化や教師の授業力向上等を図り、連続性(P.13) のある学校教育(まなび)を実践します。就学前幼児の小学生体験入学会の実施や小学校~中学校~

高等学校間の交流、小・中学校教員の合同授業研究などを実施します)

298万円

③未来からの提言一ふくちやま中学生議会事業(未来の福知山市を担う中学生を対象とした模擬議会を開催し、出された提案や要望等を

(P.2) 今後の市政に生かします)

10万円

④市民と市長の懇談事業(市長が幅広い年齢層の市民から直接意見等を聴き、今後の市政運営に反映させることで、市民参画の開かれた行政の推

(P.3) 進に努めます。今年度は、新たに高校生を対象とした「次世代と語るNEXT福知山」を開催します)

2万円

◇戦略3 若者の仕事と生活を応援

①元気出す地域活力支援事業(地域住民が主体的に参画している団体などが行う地域の連携強化や活性化に向けた事業に対して支援します。

(P.21) 今年度から「若者創造枠」を設け、イベント・まちづくり活動も支援します)

260万円

②試行雇用おうえん助成金交付事業 (P.64)

(国のトライアル雇用奨励金(試行雇用奨励金制度)を利用する企業にさらに奨励金の1/2を限度額として助成します) 292万円

③起業おうえん助成金交付事業 (P.71)

(新規開業を目指す起業者の開業資金に係る負担を軽減するため、半年間の金利相当分を全額助成します) 65万円



子どもに優しい芝生園庭整備モデル事業

モデル実施園:莬原保育園

(イメージ画像)



未来からの提言ーふくちやま中学生議会事業

開催場所:市議会本会議場

開催期日:平成23年8月(予定)

(イメージ画像)



元気出す地域活力支援事業

若者創造枠:3団体

新規

(昨年、中心市街地を活性化しようと地元の高校生が広小路に

「福知山れすとらん☆あせんぶり」を開店)

2. 『城下町福知山 魅力と活力創造戦略』 ~中心市街地活性化~

「福知山市中心市街地活性化基本計画」の国の認定を目指すとともに、福知山オンリーワンのまちなみと賑わいづくりを進めます。

府内初

◇戦略 1 城下町の風情と賑わいを再生

- ①平成の城下町福知山脈わいづくり事業(明智光秀ゆかりの地としての情報発信や手づくり甲冑隊の創設などを通して、「城下町福知山」
 - (P.22) に新たな魅力を加えることで、観光客を誘致し、賑わいを創出します)
- 103万円
- ②福知山「藍のれん」プロジェクト事業(自治会や商店街などのまちづくりや賑わいづくりを支援するために、藍のれんを活用した景観形成 (P.23) に助成し、まちの個性化を図ります) 75万円
- ③まちなみ環境整備事業(福知山城から京街道、新町・広小路界隈などの江戸時代の「まち割り」から明治・大正・昭和の佇まいを残すまちなみや (P.24) 建造物を活用し、景観に配慮した「まちなか観光散策ルート」の整備を行うための計画を策定します) 200万円
- ④まちなみ・町家活用支援推進事業(地域の特性にあった建物の誘導、家並みの統一を図り、城下町の雰囲気が漂う町並みの形成を推進するため (P.25) 、地域住民と連携を図りながら研究・検討をします) 39万円

◇戦略2 中心市街地活性化への取り組みを具現化

①中心市街地活性化まちづくりプロジェクト応援事業 (P.26)

(福知山城周辺の活性化やまちなか居住の推進など、中心市街地活性化への具体策の仕組みづくりを支援します) 80万円

②まちなか居住応援事業(P.28)(中心市街地に、一戸建ての居住用個人住宅を新築または購入された場合に定額10万円を助成します)

100万円

◇戦略3 福知山駅周地区の活気とひとの交流を創出

①「(仮称)市民交流プラザふくちやま」基本設計・実施設計策定事業 (P.30)

(まちの顔である福知山駅北に、市民検討会議の検討結果を基本とする「学ぶ・集う・支える」機能を備えた滞在型の施設

『(仮称)市民交流プラザふくちやま』の建設に向けた基本設計・実施設計を行います)

7,710万円

②福知山駅周辺賑わい拠点創出事業 (P.31)

(福知山駅周辺土地区画整理事業の大規模保留地等を購入し、定期借地として商業・業務施設を公募、土地利用の促進、

中心市街地の活性化を図ります)

4億4,987万円



平成の城下町福知山賑わいづくり事業

明智光秀ゆかりの地としての情報発信や手づくり甲冑隊の創設 などを通して、「城下町福知山」に新たな魅力を加えることで、 観光客を誘致し、賑わいを創出します





中心市街地活性化まちづくりプロジェクト応援事業

福知山城周辺の活性化やまちなか居住の推進など、中心市街地活性化への具体策の仕組みづくりを支援します

まちなみ環境整備事業

福知山城から京街道、新町・広小路界隈などの江戸時代の「まち割り」から明治・大正・昭和の佇まいを残すまちなみや建造物を活用し、景観に配慮した「まちなみ観光散策ルート」の整備を行うため調査します

3. 『人・自然共生ふくちやま 自立・元気創造戦略』~周辺部の活性化

地域の特性や個性を活かすとともに、農産物の鳥獣被害に歯止めをかけ、緑豊かな農山村地域を元気にします。

◇戦略 1 特性・個性を活かした地域づくりを支援

(1)特産品活用による三和地域活性化事業 (P.32) (三和町千束地内に、地域特産品の直販を始めるための備品を整備します) 110万円

②玄武岩公園活性化事業(P.33)(公園内にある池の改修工事や樹木の剪定など景観を整備することで、観光資源として活用します) 693万円

③大雲水辺の里づくり事業 (P.35) (由良川を通して地域間交流を推進するため、舟の運航実証実験などを実施します)

40万円

④きめ細かな安心安全事業(P.37)(各支所エリア内での住民の安心安全を確保するため、緊急時に支所長裁量で迅速に対応します)150万円

(P.38) 対象集落を拡大して地域の実情に合わせた支援を行い、集落の維持、再生、活性化を図ります) 288万円

⑥地場産農産物ブランド化支援事業(農業生産法人「有限会社やくの農業振興団」が計画するそばの生産から加工、販売に至る

(P.48) 6次産業化の取り組みに対して支援し、本市の新たな農産物のブランド化を推進します) 720万円

◇戦略2 里地・里山の環境整備と保全活動の支援

①新たに8名の実施隊を編成し、計画的な捕獲活動(月16日)を実施②府県境に生息するシカ等を効果的に捕獲(年2回)

(1) 有害鳥獣捕獲事業(鳥獣被害の減少を図るために、既存の事業のほか鳥獣被害対策実施隊委託事業(新規)

府内初

(P.43) や有害鳥獣広域捕獲事業(新規)を実施します)

4,791万円

②有害鳥獣防除事業(電気柵や金網柵の設置を行う農林業団体に対して資材費を支援します。また、山林に実の

(P.44) なる広葉樹の植栽や里山などの森林整備を進め、野牛牛物との共牛の森づくりを図ります)

1,265万円

③森林整備加速化事業(市域の森林組合が実施する森林整備事業を支援し、間伐等森林整備の加速化と森林資源の有効活用を図ります)

(P.45)

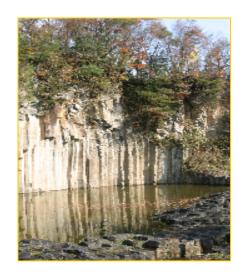
696万円



特産品活用による三和地域活性化事業三和町千束地内で、地域特産品の直販をスタートします



大雲水辺の里づくり事業 由良川を通して地域間交流を推進するため、 舟の運航実証実験などを実施します



玄武岩公園活性化事業

玄武岩公園(夜久野町小倉)の景観を整備し 観光資源として活用します

4.『便利・快適ふくちやま 公共交通創造戦略』

誰もが住みやすい、住んでみたいまちを目指して、公共交通の利便性を高めるため高校生の通学・高齢者の 通院などを支援するとともに交通空白地域の解消を図ります。

◇戦略 1 公共交通の利便性を大幅向上

①高校生定期乗車券補助事業 (P.53)

(路線バスや鉄道を利用して遠距離通学する高校生の負担を大幅に軽額するため、定期乗車券購入費助成を拡大し、 安心安全な通学手段の確保と公共交通の利用促進を図ります)

通学定期券購入価格が1ヶ月の金額で7,200円を超える場合、その超えた額の4分の3を補助 (購入金額は22,100円を上限とし、1ヶ月を超える定期券の場合は1ヶ月当たりに換算した金額を基準とします)

1,217万円

②路線バスの医療機関アクセス強化事業 (P.54)

(市民病院に民間バス事業者の路線バスも乗り入れができるように、病院玄関前のロータリー部分を改修しバス停を設置します)

800万円

◇戦略2 交通空白地域の解消

①交通空白地域移送サービス事業 (P.55)

(三和・夜久野・大江地域等の鉄道やバス路線から離れた交通空白地域で、有償運送を行うNPO法人等を支援します)

300万円



高校生定期乗車券補助事業

遠距離通学する高校生の負担を軽減するため 定期乗車購入費助成を拡大します。



路線バスの医療機関アクセス強化事業 病院玄関前のロータリー部分を改修しバス停を設置します。

☆未来につなぐ『五つの創造プラン』

新規 40事業

拡充 23事業

I 市民力と地域力が発揮できるまちの創造 - 市民協働-

- ○「自助・共助・公助」が機能する仕組みづくりと人材の育成を進めます。
- ○次代を担う若者の意見を積極的に市政に反映します。

Ⅱ 安心して子育てができ健全な子どもを育むまちの創造 一子育て・教育の推進一

- 〇子育てに対する不安を解消するため相談支援や情報提供などを行い、安心して子どもを生み育てる環境を整備します。
- 〇保護者の多様化する就労形態や就業時間等に伴う保育ニーズに対応するため保育所を支援します。
- 〇児童生徒の就学支援、学力向上、食育推進に取り組みます。

Ⅲ 活気とにぎわいあふれるまちの創造 一地域活性化対策一

- 〇地域の特性や個性を活かした活動や若者主体のイベント・まちづくり活動を応援します。
- ○市民の交流の場の整備やまちなみの保全・活用などより、市街地のにぎわいづくりを進めます。
- 〇農林業の衰退や農産物の鳥獣被害に歯止めをかけ、農山村地域を元気にします。

Ⅳ 生活の安定と産業の振興をサポートするまちの創造 -雇用景気対策-

- 〇長引く景気低迷の中、働きたい人の雇用機会の増加やスキルアップの充実を図ります。
- ○経営環境の厳しい中小企業の事業継続・拡大、経営力強化を支援します。
- 〇若者の地元定着の促進や新規創業の支援などにより、産業の振興、就労人口の増加を図ります。

V 暮らしといのちを守るやすらぎのまちの創造 -安心安全対策-

- 〇高齢者や障害のある人の介護・福祉サービスを充実するとともに、日常生活や社会参加を支援します。
- ○防災機能の強化や防災拠点の整備を図り、安心して住みやすい環境をつくります。
- ○渋滞の緩和や孤立の解消などを図り、地域の安心・安全を確保する道路整備を進めます。

I 市民力と地域力が発揮できるまちの創造 一市民協働ー

- ○「自助・共助・公助」が機能する仕組みづくりと人材の育成を進めます。
- 〇次代を担う若者の意見を積極的に市政に反映します。

市民参加型まちづくり推進事業

388万円



(P.1)

協働型社会の実現に向けて、「(仮称)市民協働推進会議」の設置、市民協働を推進する公共人材の育成を進めます。



未来からの提言ーふくちやま中学生議会事業 10万円

(P.2)

未来の福知山市を担う中学生を対象とした模擬議会を開催し、出された提案や要望等を今後の市政に生かしていきます。



市民と市長の懇談事業

2万円 (P.3)

市長が幅広い年齢層の市民から直接意見等を聴き、今後の市政運営に反映させることで、市民参画の開かれた市政の推進に努めます。今年度は、新たに高校生を対象とした「次世代と語るNEXT福知山」を開催します。

第4次総合計画後期計画策定事業 810万円

(継続)

(P.4)

平成18年に策定した前期計画を基本に、現下の社会経済情勢や市民ニーズを反映させた、後期計画(平成24年~27年度)を策定し、市民協働で力強いまちづくりを推進します。



元気出す地域活力支援事業 260万円

(P.21)

地域住民が主体的に参画している団体などが行う地域の連携強化や活性化に向けた事業を支援します。今年度から「若者創造枠」を設け、若者のイベント・まちづくり活動も支援します。

Ⅱ 安心して子育てができ健全な子どもを育むまちの創造 一子育て・教育の推進一

- 〇子育てに対する不安を解消するため相談支援や情報提供などを行い、安心して子どもを生み育てる環境を整備します。
- 〇保護者の多様化する就労形態や就業時間等に伴う保育ニーズに対応するため保育所を支援します。
- 〇児童生徒の就学支援、学力向上、食育推進に取り組みます。

子育て支援



こんにちは赤ちゃん事業

100万円

(P.5)

生後4カ月までの乳児のいる家庭を訪問し、育児に対するさまざまな不安や悩みを聞き、また子育て支援に関する情報提供などの支援を行います。



子どもに優しい芝生園庭整備モデル事業 14万円

(P.7)

公立保育所の園庭の一部を芝生化し、園児が安全安心に遊べる環境を整備します。 モデル事業として菟原保育園で実施します。



民間保育所運営事業

2億4, 208万円

(P.8)

延長保育に要する経費を増額します。



放課後児童クラブ運営事業

1億328万円

(P.9)

直営クラブに代表者を置き、組織体制の強化と児童の健全育成を図ります。



日常生活用具給付事業(小児慢性特定疾患児)

19万円

(P.11)

在宅の小児慢性特定疾患児に対して日常生活用具を給付します。

学校教育



まなびのつながり強化推進事業 298万円

(P.13)

子どもたちの個性を伸ばすために、異校種間等の連携の強化や教師の授業力向上等を図り、連続性のある学校教育(まなび)を実践します。 具体的な取り組みとして、就学前幼児の小学生体験入学会の実施や小学校~中学校~高等学校間の交流、小・中学校教員の合同授業研究 など実施します。

文武向上プラン学校支援事業 755万円

(P.14)

確かな学力の育成や教育効果を高める学習環境の構築等、各小中学校の「文武向上プラン」に対して助成を行います。



小・中学校就学援助事業・特別支援就学奨励事業

8. 685万円 (拡充分759万円)

経済的理由により就学困難な児童・生徒の保護者に対する援助項目に「PTA会費」等を追加します。 (P.16)

新学校給食センター建設事業 8億6,220万円



(P.19)

成長期にある中学生に栄養バランスのとれた安心・安全な給食を提供するため、「新学校給食センター」を整備します。

中学校施設設備整備事業(中学校給食配備室整備) 5.500万円



(P.20)

中学校の完全給食化に備え、給食配膳室の設計・工事を行います。

Ⅲ 活気とにぎわいあふれるまちの創造 一地域活性化対策 -

- 〇地域の特性や個性を活かした活動や若者主体のイベント・まちづくり活動を応援します。
- ○市民の交流の場の整備やまちなみの保全・活用などより、市街地のにぎわいづくりを進めます。
- ○農林業の衰退や農産物の鳥獣被害に歯止めをかけ、農山村地域を元気にします。



元気出す地域活力支援事業

260万円

(P.21)

地域住民が主体的に参画している団体などが行う地域の連携強化や活性化に向けた事業を支援します。今年度から「若者創造枠」を設け、若者のイベント・まちづくり活動も支援します。

中心市街地活性化

「福知山市中心市街地活性化基本計画」の国の認定を目指すとともに、福知山オンリーワンのまちなみと賑わいづくりを進めます。



平成の城下町福知山賑わいづくり事業

103万円

(P.22)

城下町福知山 の 創 造

明智光秀ゆかりの地としての情報発信や手づくり甲冑隊の創設などを通して、「城下町福知山」に新たな魅力を加えることで、観光客を誘致し賑わいの創出を図ります。

新規

まちなみ環境整備事業

200万円

(P.24)

福知山城から京街道、新町・広小路界隈などの江戸時代の「まち割り」から明治・大正・昭和のたたずまいを残すまちなみや建造物を活用し、景観に配慮した「まちなか観光散策ルート」の整備を行うための調査をします。



まちなみ・町家活用支援推進事業 39万円

(P.25)

地域の特性にあった建物の誘導、家並みの統一を図り、城下町の雰囲気が漂うまちなみの形成を推進します。



福知山「藍のれん」プロジェクト事業 75万円

(P.23)

自治会や商店街などのまちづくりや賑わいづくりを支援するために、藍のれんを活用した景観形成を助成し、まちの個性化を図ります。



中心市街地活性化まちづくりプロジェクト応援事業 80万円

(P.26)

福知山城周辺の活性化やまちなか居住の推進など、中心市街地活性化への具体策の仕組みづくりについて支援します。



まちなか居住応援事業

100万円

(P.28)

中心市街地に、一戸建ての居住用個人住宅を新築または購入された場合に定額10万円を助成します。



「(仮称)市民交流プラザふくちやま」基本設計・実施設計策定事業 7,710万円

まちの顔である福知山駅北に、市民検討会議の検討結果を基本とする「学ぶ・集う・支える」機能を備えた滞在型の施設 (P.30) 「(仮称)市民交流プラザふくちやま」の建設に向けた基本設計・実施設計を行います。



福知山駅周辺賑わい拠点創出事業 4億4.987万円

(P.31)

福知山駅周辺土地区画整理事業の大規模保留地等において、定期借地での商業・業務施設を公募し、土地利用の促進、中心市街地の活性化を図ります。

周辺部の活性化

地域の特性や個性を活かすとともに、農産物の鳥獣被害に歯止めをかけ、農山村地域を元気にします。



特産品活用による三和地域活性化事業

110万円

(P.32)

三和町千束地内に、地域特産品の直販を始めるための備品を整備します。



玄武岩公園活性化事業

693万円

(P.33)

公園内にある池の改修工事や樹木の剪定など景観を整備することで、観光資源としての活用を図ります。



大雲水辺の里づくり事業

40万円

(P.35)

由良川を通して地域間交流を推進するため、舟の運航実証実験などを実施します



日本鬼文化交流事業

150万円

(P.36)

国民文化祭鬼面モニュメントの設置、鬼瓦展示のPR、鬼面鬼瓦製作実演など鬼文化の情報を全国に発信します。



きめ細かな安心安全事業

150万円

(P.37)

各支所エリア内での住民の安心安全を確保するため、緊急時の対応に支所長裁量で迅速に対応します。



ふくちの農山村応援事業

288万円

(P.38)

農山村地域の人口減少と少子高齢化の進行に伴う農林業の衰退、集落機能の低下などに対応するため、対象集落を拡大して、地域の実情に合わせた支援を行い、集落の維持、再生、活性化を図ります。



農地・水・環境保全向上対策事業 2,430万円

(P.42)

新たに、農業施設の長寿命化の取組活動を行う協定と、環境負荷低減に取り組む農家や集落営農組織に支援します。



有害鳥獣捕獲事業 4.791万円

①新たに8名の実施隊を編成し、計画的な捕獲活動(月16日)を実施

②府県境に生息するシカ等を効果的に捕獲(年2回)

府内初

(P.43)

鳥獣被害の減少を図るために、既存の事業のほか鳥獣被害対策実施隊委託事業(新規)や有害鳥獣広域捕獲事業(新規)を実施します。

有害鳥獣防除事業 1,265万円

継続

(P.44)

電気柵や金網柵の設置を行う農林業団体に対して資材費を支援します。また、山林に実のなる広葉樹の植栽や里山などの森林整備を進め、 野生生物との共生の森づくりを図ります。



森林整備加速化事業

696万円

(P.45)

市域の森林組合が実施する森林整備事業を支援し、間伐等森林整備の加速化と森林資源の有効活用を図ります。

丹波福知山ブランド



地場産農産物ブランド化支援事業

720万円

(P.48)

農業生産法人「有限会社やくの農業振興団」が計画するそばの生産から加工、販売に至る6次産業化の取り組みに対して支援し、本市の新たな 農産物のブランド化を推進します。



丹波米振興事業

19万円

(P.49)

売れる米作りのため、良食味米の調査研究活動を実施し、全国食味ランキング特Aを目指します。



農産加工計画策定事業(公設地方卸売市場事業特別会計) 100万円

(P.50)

丹波福知山ブランド産品の開発とアンテナショップの開設などを検討します。



丹州材活用促進事業 200万円

(P.51)

地域材である丹州材を使用して個人住宅を新築・改築した場合に支援します。

公共交通の推進

公共交通の利用促進を図るため、高校生の通学・高齢者の通院など利用者の利便性を向上させます。



高校生定期乗車券補助事業

1,217万円

(P.53)

路線バスや鉄道を利用して遠距離通学する高校生に対し、定期乗車券購入の負担を軽減するとともに、安心安全な通学手段の確保と公共交通の利用促進を図ります。



路線バスの医療機関アクセス強化事業

800万円

(P.54)

福知山市民病院に民間バス事業者の路線バスも乗り入れができるように、病院玄関前のロータリー部分を改修しバス停を設置します。



交通空白地域移送サービス事業

300万円

(P.55)

三和・夜久野・大江地域等の鉄道やバス路線から離れた交通空白地域で、有償運送を行うNPO法人などを支援します。

文化・スポーツの振興 三段池公園内の運動施設を充実させるとともに、スポーツ観光の推進とスポーツ大会の誘致に取り組みます。



国民文化祭推進事業

840万円

(P.56)

「第26回国民文化祭京都2011」の開催種目である「盆踊り」「鬼」を全国発信するための支援をします。



「はやぶさ」帰還カプセル展示事業

300万円

(P.57)

「はやぶさ」帰還カプセルおよび関連物品を三段池公園総合体育サブアリーナに展示します。



三段池公園施設整備事業

3,200万円

(P.58)

三段池公園内の運動施設の備品(サッカーとバスケットボールのゴール)購入と、動物園の医療施設の充実を図ります。



下豊富地域多目的グラウンド整備事業

9,711万円

(P.61)

市民のコミュニティの向上と健康増進に繋げるため、23年度から2カ年計画でグラウンドを整備します。

Ⅳ 生活の安定と産業の振興をサポートするまちの創造 一雇用景気対策一

- 〇長引く景気低迷の中、働きたい人の雇用機会の増加やスキルアップの充実を図ります。
- ○経営環境の厳しい中小企業の事業継続・拡大、経営力強化を支援します。
- ○若者の地元定着の促進や新規創業の支援などにより、産業の振興、就労人口の増加図ります。

緊急雇用創出事業

2億628万円

継続

49事業 新規雇用創出182人

(P.62-63)

離職を余儀なくされた失業者に対し、次の就職までのつなぎとなる雇用の機会を創出するため、昨年度に引き続き各種の事業を実施します。



試行雇用おうえん助成金交付事業

292万円

(P.64)

就職が困難な求職者を試行的に短期間雇用(原則3カ月間)する企業に助成することで、就職困難者への雇用機会の増加を図ります。

再就職おうえんスキルアップ助成金給付事業

303万円

;)

(P.65)

再就職に向けて資格取得(スキルアップ)などを目的とした講座を受講する場合に、入学金と受講料の一部を助成します。

拡充

ホームヘルパー研修受講支援事業

150万円

(P.67)

市内の介護保険事務所への就職・登録を希望し、厚生労働省の定めるホームヘルパー養成研修2級・3級課程を受講した場合に、受講料として 支払った額の2分の1を助成します。

企業誘致促進特別対策事業

6,087万円

継続

(P.68)

長田野工業団地アネックス京都三和の企業誘致活動を展開するとともに、長田野工業団地立地企業などの既存企業の増設等を支援し、地域経済の活性化と雇用の創出、若者の定住を促進します。

小規模企業融資制度事業「マル福」

2.267万円

、継続

(P.70)

低利な融資制度を設け、小規模企業の資金繰りを支援し、経営の合理化と安定化を図ります。 平成20年12月からのゼロ金利を継続実施します。



起業おうえん助成金交付事業

65万円

(P.71)

新規開業を目指す起業者の開業資金に係る負担を軽減するため、半年間の金利相当分を全額助成します。

Ⅴ 暮らしといのちを守るやすらぎのまちの創造 一安心安全対策一

- ○高齢者や障害のある人の介護・福祉サービスを充実するとともに、日常生活や社会参加を支援します。
- ○防災機能の強化や防災拠点の整備を図り、安心して住みやすい環境をつくります。
- ○渋滞の緩和や孤立の解消などを図り、地域の安心・安全を確保する道路整備を進めます。

高齢者・障害者福祉施策

拡充

外出支援助成事業 2,048万円

今年度から買物も対象

(P.73)

通院や買物などにかかる外出手段を持たない在宅高齢者の外出を支援します。

拡充

介護支援サポーター活動事業(介護保険事業特別会計)

291万円

(P.74)

介護サポーターの活動場所を在宅での支援活動、介護保険以外の通所・入所施設、地域支援事業等まで支援します。

」 L 拡充 F

介護予防の充実(生活機能評価事業) (介護保険事業特別会計)

672万円

(P.75)

基本チェックリストを全ての高齢者に配布し、回収したリストにより特定高齢者を把握のうえ、要支援・要介護状態になることを事前に防ぎます。

」 L 拡充]

介護予防の充実(特定高齢者介護予防事業) (介護保険事業特別会計) 512万円

(P.76)

市内6箇所の日常生活圏域【(川口・夜久野)、(北陵・大江)、(成和)、(日新)、(桃映・南陵)、(六人部・三和)】で通所型の運動機能向上事業を実施します。

福祉医療費(障害)給付事業 2億5,772万円

、継続

(P.79)

75歳未満の重度の障害のある人に係る医療費の負担を軽減します。



高齢者・障害者団体の体育施設利用料・使用料及び占用料の減免

(P.80)

65歳以上の高齢者団体や障害者団体が体育施設を利用する場合、施設の利用料などを2分の1減免します。

保健・健康



健康増進計画推進事業

100万円

(P.81)

健康に対する市民意識の高揚を図るため、歩くきっかけをつくるイベントの開催や「福知山のウォーキングコース10選」を募集します。

子宮頸がん予防ワクチン接種事業 2,890万円

継続

(P.82)

子宮頸がんの予防接種を全額公費負担で行います。

✓ ヒブワクチン接種事業 3,559万円

継続

(P.83)

細菌性髄膜炎の予防接種を全額公費負担で行います。

小児用肺炎球菌ワクチン接種事業 4,578万円

継続

(P.84)

小児用肺炎球菌の予防接種を全額公費負担で行います。

拡充

ワクチン接種事業

不妊治療費助成事業

883万円

(P.85)

不妊治療を受けている夫婦に対して、その治療に要する費用の一部を助成します。また今年度より助成限度額を10万円(現行3万円)に引き上げます。

環境・エネルギー



福知山市地球温暖化対策地域推進計画策定 20万円

(P.87)

環境省のマニュアルに基づき、「地球温暖化対策地域推進計画」を策定します。



みどりのカーテン促進事業(めざせ!日本一の実施率)

104万円

(P.88)

環境ボランティア団体が行う「みどりのカーテン」運動を支援し、地球温暖化対策に関する市民意識の一層の高揚を図ります。 今年度は公共施設について、学校や公民館などの教育関係施設を中心に実施率90%を目指します。

住宅用太陽光発電システム設置事業

620万円 4



(P.89)

家庭における地球温暖化防止を推進するために、住宅用太陽光発電システムを設置する市民に、費用の一部を支援します。 予定100件/年



エコオフィス推進事業

40万円

(P.90)

環境マネジメントシステムを導入することで、環境にやさしい事業所を構築します。



天然記念物等総合調査事業

100万円

(P.91)

市内の豊かな自然の所在を調査し、その所在を明らかにした冊子(仮)「福知山の自然遺産」を作成するとともに、天然記念物として保全する方法を検討します。

防災・耐震化・都市基盤

(仮称)総合防災センター建設事業

14億150万円



(P.92)

「消防本部・消防署機能」、「市民防災研修機能」、「災害対策機能」を備えた防災拠点施設を整備します。平成24年度に運用開始します。



土師地区・堀地区浸水対策事業(下水道事業特別会計) 2,000万円

(P.93)

近年、浸水被害が発生している土師・堀地区に地下貯留施設などを設置するための基本設計を行います。



家庭用雨水貯留槽設置促進事業(下水道事業特別会計)

70万円

(P.94)

個人自らが居住する住宅に雨水貯留槽を設置する場合、購入費用の2分の1(限度額3万円)の補助制度を創設します。



ため池等農地災害危機管理対策事業

1,624万円

(P.95)

ため池の改修を行い、地域の安全・安心を確保します。 実施計画3件(高来池、寺山池、天王池)、工事1件(高来池)。事業期間は平成25年度まで。

小中学校耐震改修事業

7. 499万円

継続

(P.99)

小学校-実施設計7棟、耐震診断業務委託13棟、判定委員会手数料13棟中学校-実施設計1棟、耐震診断業務委託3棟、判定委員会手数料3棟



消防庁舎耐震化改修事業

380万円

(P.100)

昭和56年に建設した消防署東分署と北分署の耐震診断を実施します。



広域交通網整備促進事業(福知山停車場奥榎原線) 900万円

(P.103)

夜久野、上豊富方面と福知山駅南周辺の交通網を確立し、幹線道路の混雑を緩和するため福知山停車場線奥榎原線の調査をします。



過疎対策事業・辺地対策事業(道路整備)

5,700万円

(P.105)

過疎地域・辺地地域の人・物の流通を促進するため道路整備を進めます。

3 財政健全化の推進 ~持続可能な財政構造の確立~

財源捻出額 7億7,187万円

行政内部経費等のスリム化

△ 1億5,295万円

► 特別職等給与の削減(継続中) (通常分)

△551万円

市長△15% 副市長△10% 教育長 △5%

期末手当削減 (△0.15月分)

> 一般職給与の削減

(消防職員増員分(6人)を除く、特別会計を含む。) △ 1億1,531万円

職員数削減 △8人、給料及び期末勤勉手当削減 (△0,20月分)等

(△ 9,316万円)

超過勤務手当削減 △10% (選挙、消防職員夜間勤務手当等を除く。)

(△2,215万円)

議員報酬

△ 3,213万円

議員定数削減 $\triangle 6$ 人、期末手当削減($\triangle 0$, 15月分)

② 基金取り崩しの抑制

- 財政調整基金・減債基金の取り崩しはせず予算を編成
- 基金残高 前年度に比べて 5.8億円の増

③ 市債発行の抑制

- 一般会計の市債発行額は前年度に比べて △14.3億円、△22.0%
- 全会計の実質的な市債残高は512.1億円となり、前年度に比べて△13.7億円、
 - 一般会計で △4.7億円

4 財源確保対策

6億1,892万円

市有財産の積極的活用と未利用財産の売却

2億6,720万円

・市有財産の貸付・活用や未利用財産の積極的な売却処分による財源確保

財団法人 福知山市開発公社の寄附金の活用

3億5,000万円

● 財団法人 福知山市開発公社の解散清算金の活用による財源確保

広告収入の積極的確保

172万円

市が保有する財産・資源の有効活用による広告収入、寄附付き広告による積極的な財源確保 (公用車、市ホームページバナー広告など)

⑤ 特別会計・企業会計の健全化

- 土地区画整理事業特別会計の累積赤字を縮減
- 市民病院事業会計の単年度収支の改善

⑥ 土地開発公社の経営改革の推進

● 有識者等で構成する経営検討委員会を設置して土地開発公社の抜本的な改革方針を検討

4 一般会計予算のポイント

1歳入

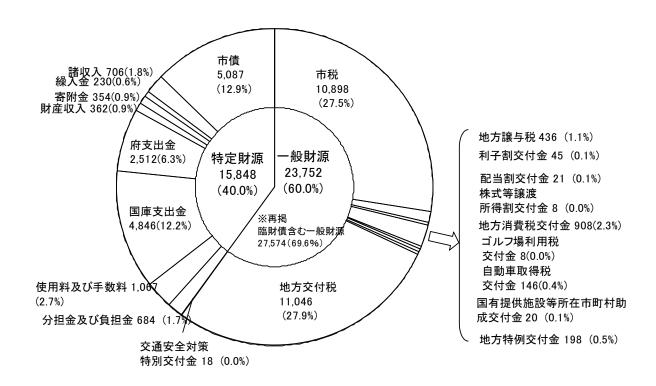
- 市税は△2億800万円、△1.9% (3年連続減)
 - うち個人市民税は△ 1億8,400万円、△5.7%
- 地方交付税は6億4,600万円、6.2%の増加
- 市債発行額は△14億3,200万円、△22.0%
 - 臨時財政対策債を除く市債発行額は△12億9,300万円、△28.4%
 - 合併特例債を除く市債発行額は△4億9,500万円、△37.8%

単位:百万円

主な項目	H23	H22	増減額	増減率
市 税	10,898	11,106	△ 208	△ 1.9
うち個人市民税	3,029	3,213	△ 184	△ 5.7
地方交付税	11,046	10,400	646	6.2
市 債	5,087	6,519	△ 1,432	△ 22.0
うち臨時財政対策債を除いた市債発行額	3,265	4,558	△ 1,293	△ 28.4
うち合併特例債発行額	2,450	3,248	△ 798	△ 24.5
うち合併特例債を除いた市債発行額	815	1,310	△ 495	△ 37.8

一般会計歳入内訳(396億円)

単位:百万円



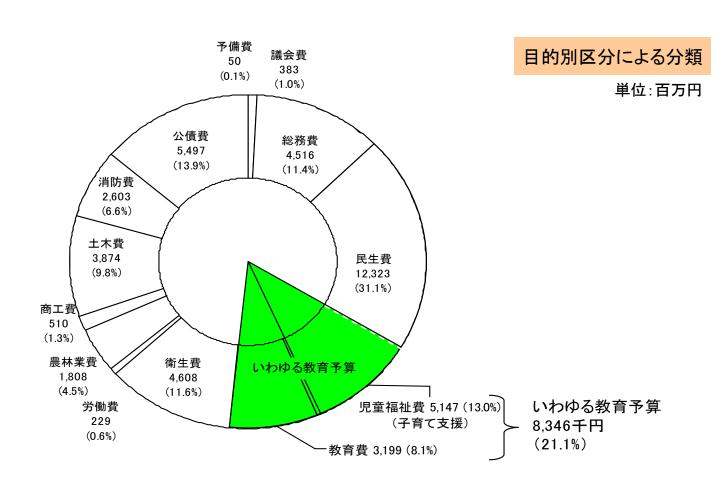
②歳出(目的別)

- いわゆる教育予算(子育て支援+教育費)は4億5,200万円、5.7%の増加
- 民生費は社会保障費の増により5億8,700万円、5.0%の増加
- 消防費は(仮称)総合防災センター建設により5億1,200万円、24.5%の増加
- 総務費はe-ふくちやま整備事業の減等により△17億3,400万円、△27.7%

単位:百万円

増減が大きい主な項目	H23	H22	増減額	増減率	構成比
民生費	12,323	11,736	587	5.0	31.1
うち児童福祉費(子育て支援) ①	5,147	4,822	325	6.7	13.0
消防費	2,603	2,091	512	24.5	6.6
農林業費	1,808	1,514	294	19.4	4.5
教育費 ②	3,199	3,072	127	4.1	8.0
総務費	4,516	6,250	△ 1,734	Δ 27.7	11.4
商工費	510	806	△ 297	△ 36.7	1.3
総 額	39,600	40,130	△530	Δ1.3	
いわゆる教育予算 計(①+②)	8,346	7,894	452	5.7	21.1

一般会計歳出内訳(396億円)



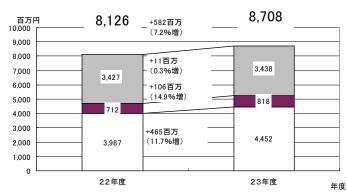
③財政状況の概要 (基金残高)

- 財政調整基金・減債基金の取り崩しはせず予算を編成
- 基金残高は前年度に比べて 5.8億円増加

(単位:百万円)

	基金の	D額	前年度比		
	H22	H23	増減額	増減率	
財政調整基金	3,427	3,438	11	0.3%	
減債基金	712	818	106	14.9%	
特定目的基金	3,987	4,452	465	11.7%	
合 計	8,126	8,708	582	7.2%	





④ 財政状況の概要 (市債残高)

- 全会計の実質的な市債残高(*)は512.1億円となり、前年度に比べて△13.7億円
 - 一般会計で△4.7億円
- 全会計の市民1人あたり実質的な市債残高(*)は、62万7,000円で前年度に比べて △17,000円

(*)交付税の財政支援措置控除後の市債残高

単位:百	5万円
------	-----

	H22		H23		増 減	
	市債	実質的な 市債①	市債	実質的な 市債②	増減額 ② - ①	増減率
一般会計	52,395	19,549	52,862	19,112	△437	△ 2.2
全会計	105,062	52,575	104,023	51,209	△1,366	△ 2.6
市民一人あたり実質的な市債残高						
一般会計		23.9万円		23.4万円	△0.5万円	△2.1
全会計		64.4万円		62.7万円	△1.7万円	△ 2.6

[★]人口はH22年3月末人口81.687人で算出

